



平成 27 年 2 月 3 日
九州クルーズ振興協議会
九州運輸局海事振興部

九州(下関港を含む)へのクルーズ船の寄港について(2014 年速報) ～中国発着クルーズ船の増加により、過去最高を記録した 2012 年の水準にV字回復～

九州クルーズ振興協議会(事務局:九州運輸局海事振興部)では、九州地方整備局と連携して、2014 年における九州(下関を含む)へのクルーズ船の寄港状況を各港湾管理者に調査しましたので、その結果を公表します。

1. クルーズ船の寄港回数

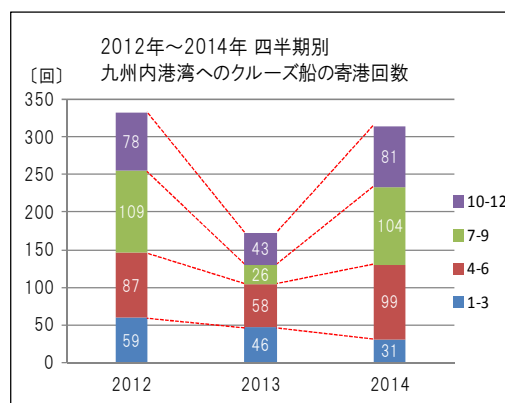
2014 年の九州(下関港を含む)への寄港回数は、315 回(外国船 233 回、日本船 82 回)となった。

日中関係の悪化や韓国クルーズ船社の運航中止等の影響を受け大幅に寄港が減少した 2013 年との比較では、対前年比 182.1%(外国船 280.7%、日本船 91.1%)の大幅な増加となり、過去最高となった 2012 年の 333 回(外国船 228 回、日本船 105 回)に次ぐ水準に V 字回復、外国クルーズ船の寄港回数では過去最高となった。

2. 2014年のクルーズ船寄港の概況

2014 年 1-3 月期の寄港回数は、前年を下回る状況にあったが、4-6 月期以降本格的なクルーズシーズンを迎え、中国発着クルーズを中心に船の寄港が回復。中国資本によるクルーズ船社が相次いで運航を開始(ヘナクルーズ:4 月～、渤海クルーズ:11 月～)、昨年1年間に九州に 60 回寄港したことが大きく貢献した。

一方、日本船による寄港回数は、2012 年 105 回、2013 年 90 回、2014 年 82 回と減少している。



3. 2015年のクルーズ船寄港の動向

中国国内の旺盛なクルーズ需要を背景に、中国を発着するクルーズ船の九州寄港が今年も増加する見通しである。

九州の主要港湾の予約状況について各港湾管理者にヒアリング調査したところ、博多港、長崎港とも予約ベースながら過去最高の昨年を大幅に上回る見通しであり、これは中国資本によるクルーズ船社が、引き続き九州への寄港を継続するほか、新たなクルーズ船社(スカイシー・クルーズ:米中合弁会社)が年半ばから九州への寄港を計画していることなどによるものである。

運輸と観光で九州の元気を創ります

<お問い合わせ先>

九州運輸局 海事振興部

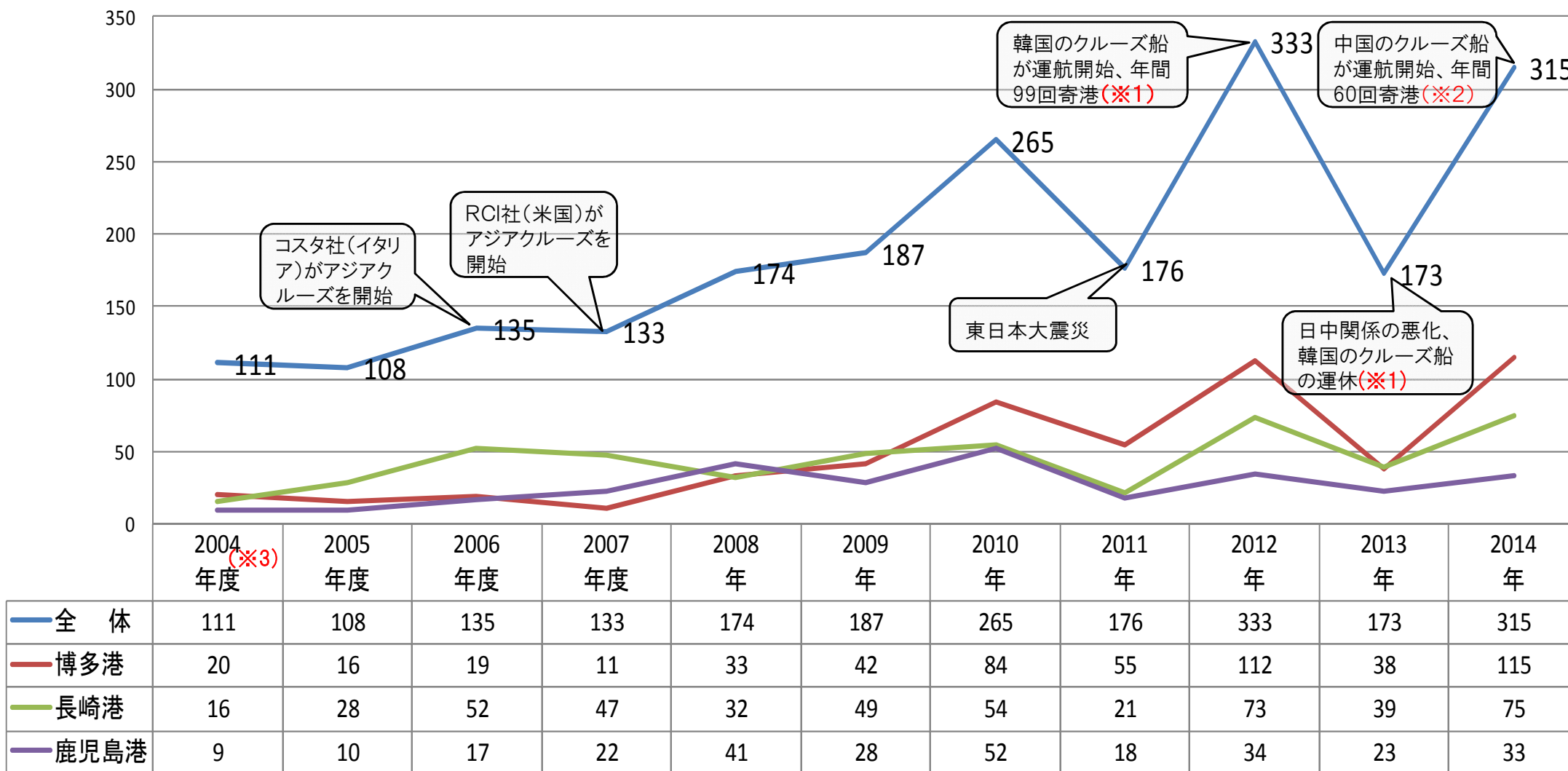
担当:羽仁、増田

電話092-472-3158

FAX 092-472-3301



九州(下関を含む)へのクルーズ船寄港回数の推移

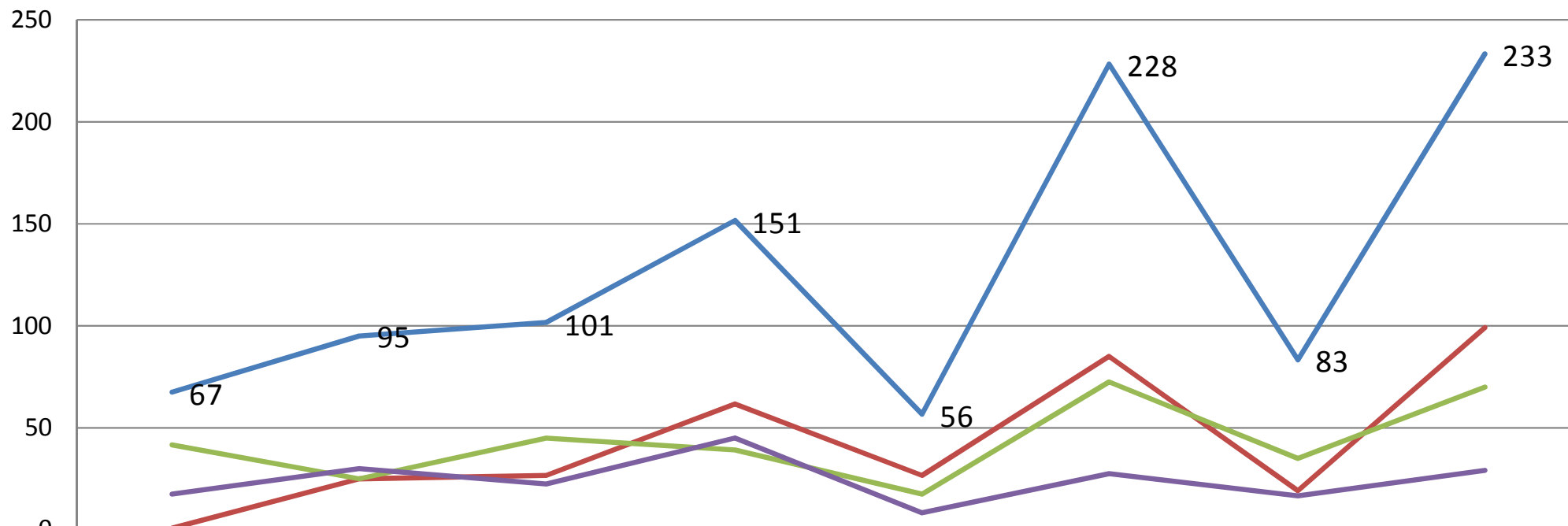


※1 ハーモニー・クルーズ社「クラブ・ハーモニー」(25, 558総トン、旅客定員1, 000名): 寄港期間2012年2月17日(長崎港)～2013年1月30日(別府港)
2012年99回、2013年16回、合計115回寄港

※2 HNAクルーズ社「HENNA」(47, 678総トン、旅客定員1, 965名): 2014年4月22日九州初寄港(博多港)
渤海クルーズ社「中華泰山: チャイニーズ・タイシャン」(24, 427総トン、旅客定員927人): 2014年11月29日九州初寄港(博多港)

※3 2004年～2007年については、年度ベースでの実績値のみ。

外国クルーズ船の九州(下関含む)への寄港回数の推移



※ 2007年については、年度ベースでの実績値のみ

	2007年度(※)	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
全体	67	95	101	151	56	228	83	233
博多港	0	25	26	61	26	85	19	99
長崎港	41	25	45	39	17	72	35	70
鹿児島港	17	30	22	45	8	27	16	29